令和4年1月7日　北海道新聞（朝刊/16面/地域の話題）
本学学生設立の合同会社「Portaru」について

学生の発想に期待

つれづれ@小樽報道部

小樽商科大生が小樽市花園の4階建てビルで昨年12月開業したシェアハウスを取材した。運営するのは、学生たちが設立した合同会社「PoRtaru（ポータル）」。同じ建物でカフェバーやゲストハウスをオープンする計画もある。

事業のコンセプトは「学生と街との接点づくり」だ。商大生の約7割は札幌など市外から通い、多くは駅と校舎とを往復するだけ。特にこの2年間は新型コロナ禍の影響でオンライン授業が増え、小樽に訪れること自体が減った。

商大生でもあるポータルの歌原大悟代表は「何のために小樽に来たのか、と感じている学生もいる。地域の人や旅行者と触れ合うコミュニティーの場になれば」と期待し、「小樽をよく知る若者が増えれば、地域の大きな資産にもなるはずだ」と強調する。

建物を所有する札幌の不動産企画会社「大人」（五十嵐慎一郎社長）と業務提携し、地域づくりの企画も積極的に立案していく考えだ。走りだしたばかりの新会社が、地域の住民たちとどのような化学反応を起こし、地域の活性化に結びつけていくのか。若者たちの柔軟な発想と行動力に期待したい。

（谷本雄也）